

令和2年度

神奈川県テレワーク 導入促進事業

アドバイザー派遣企業事例

事業背景・目的・概要	P 1
株式会社アイ.ダブリュー.エス.インターナショナル	P 3
株式会社アレス	P 5
特定非営利活動法人いのちところ	P 7
コアフューテック株式会社	P 9
株式会社古賀電子	P11
富士和電子株式会社	P13
株式会社マイクロネット	P15
わしょクック株式会社	P17
一般社団法人H&P	P19
株式会社Real	P21
参加企業へのアンケート結果	P23

事業背景・目的・概要

背景・目的

少子高齢化の進行により生産年齢人口が減少する中、活力ある社会を実現するためには、子育て世代、介護を必要とする家族がいる従業員や高齢者等、働く時間や場所等に制約のある多様な人材が、生活と両立しながら就業を継続できる職場環境の整備が求められています。しかし、本県では通勤時間（注）が全国一長く、仕事と生活を両立するうえで大きな課題となっています。

本県では、こうした課題を解消するため、通勤に掛かる負担を軽減することができる「テレワーク」について、県内中小企業等への導入を促し、働き方改革の取組の推進を図っています。

（注）総務省「社会生活基本調査」（平成28年）によると、平日の通勤・通学に要する時間は全国が1時間19分のところ、本県は1時間45分

令和2年度実施事業の概要

経営者層向けセミナー実施概要

日時：令和2年9月8日（火）
場所：オンライン
参加者数：28名
内容：1.アフターコロナに生き残る企業戦略
2.テレワークの「できない」をICTで解決します
3.中小企業経営者が自ら語る導入事例
4.登壇者とのディスカッション&質疑応答
5.個別相談

担当者向けセミナー実施概要

日時：第1回 令和2年 9月16日（水）
第2回 令和2年 9月25日（金）
第3回 令和2年10月 2日（金）
場所：オンライン
参加者数：39名（3回の参加者合計）
内容：1.中小企業におけるテレワークの課題あるある
2.テレワークの課題をICTで解決します
3.パソコンを使用したテレワーク疑似体験
4.テレワーク導入企業事例
5.登壇者とのディスカッション&質疑応答
6.個別相談会

アドバイザー派遣実施概要

▼支援内容

在宅勤務型のテレワークの導入を検討する県内の中小企業10社に対し、コンサルタントによる導入支援を実施しました。主に情報セキュリティ、労務管理、コミュニケーション等を柱に置いたアドバイザー派遣を3回実施したほか、テレワークシステムのツールを使用しテレワーク体験を試行することで、本事業終了後もテレワークを自社で継続できる環境づくり、人材育成を目指しました。

【第1回】テレワーク導入の基本方針、計画策定に対する支援を実施し、導入目的の確認や現状把握と課題の抽出。

【第2回】社内体制構築、社内規定整備、試行に対する支援を実施し、利用するICT環境の整備や、制度・運用ルールのポイントを解説。また、事前研修の進め方について説明。

【テレワーク体験】 各企業の状況に合わせて準備したツールを利用し、1か月～2か月に亘りテレワーク体験を試行。

【第3回】 試行終了時に、テレワーク実施者およびその同僚や上長を対象としたアンケートを実施し、トライアル期間中の制度やツール、チーム業務や日常生活への影響度等を調査。それを基に試行の効果と課題を抽出しました。同時に本格導入に向け、課題への対策について明示し、具体的な導入への道筋を提案しました。

▼無償提供ツール

テレワークの三大不安「情報セキュリティ」「労務管理」「コミュニケーション不足」を解消するため、本支援では以下のツールを各企業の業務環境に応じて準備・提供しました。

1. マジックコネクト：情報を外に持ち出さないテレワーク

手元のパソコンに、会社のパソコンのデスクトップ画面を呼び出して操作するリモートアクセスツール。社内データを持ち出すことなく、普段と同じパソコン環境で自宅や外出先から仕事ができます。セキュリティの面から、データが手元の端末に残らないことも利点。また、導入時・運用時の費用負担が少なく、中小企業に最適です。



2. Fチェアプラス：働きすぎ防止ツール

働いている時間を記録するだけでなく、その時の従業員のパソコンの画面をランダムに取得し記録できるシステム。管理者によくある「部下がさぼっているのではないか」という不安だけでなく、従業員が抱く「怠けていると思われるのではないか」といった不安をなくし、働きすぎの抑止につながります。



3. Sococo：ネット上にオフィスを再現しコミュニケーションを担保

クラウド上に仮想のオフィスを再現し、テレワーク中の従業員とオフィスに出社している社員が、チャットや音声での会話、カメラを活用したWEB会議等、気軽にコミュニケーションを行えるツール。上司や同僚の「テレワークだと声がかけにくい」、在宅勤務者の「テレワークだと孤独を感じる」等の不安を払拭することができます。※希望によりコミュニケーションツールとしてZoomも提供。



4. Zoom：社外とのWEB会議を簡単にはじめられる

オンライン会議を簡単な操作で始められるWEB会議ツール。テレワークでも、社内でのコミュニケーションはもちろん、顧客との商談や打ち合わせなど、社外との連携手段として有効です。

企業等が参加するイベントでの体験・相談コーナーの設置

イベント名：第13回川崎国際環境技術展
日時：令和3年1月21日（木）～2月5日（金）
会場：オンライン
内容：テレワーク体験、個別相談、アンケートの実施
展示ブース閲覧者数：96名

イベント名：テクニカルショウヨコハマ2021
日時：令和3年2月15日（月）～26日（金）
会場：オンライン
内容：テレワーク体験、個別相談、アンケートの実施
展示ブース閲覧者数：376名

テレワーク導入ガイドの配布

中小企業のためのテレワーク導入ガイドを、サテライトオフィスや県内の事業所等へ、事業の広報と併せて配布することで周知を実施しました。

本誌では、テレワーク導入のために役立つ情報として、テレワークの概要、中小企業等が導入する必要性・メリット、導入の注意点・ポイント、導入コスト、テレワーク導入済の県内中小企業3社の事例を紹介しています。



株式会社アイ.ダブリュー.エス.インターナショナル

企業概要

- ・本社所在地 : 神奈川県横浜市神奈川区千若町2-1 日塩千若町保税倉庫内2階
- ・業種 : 運輸業、郵便業
- ・従業員数 : 2名
- ・設立 : 平成元年10月23日
- ・主たる事業 : 国際物流

テレワーク導入目的

- ・海外拠点の事業拡大、連携・コミュニケーション強化
- ・事業運営コスト（通勤費・オフィス費用・通信料等）の削減
- ・従業員の働き方の改革（移動時間短縮等）

テレワーク導入で目指す効果

1. 事業運営コスト、オフィス賃料、交通費、光熱費等
2. 従業員のワークライフバランスの改善

今回の取り組み内容

第1回：現状確認と課題の整理、試行計画

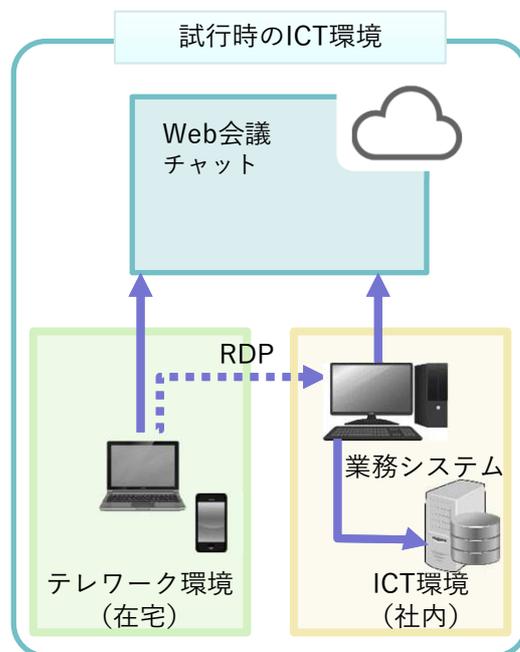
- ①ICT環境について、現状の確認と確認と試行時の利用ツールの説明。
- ②ペーパーレス化を進めるための環境を整備する必要がある。
- ③テレワーク試行実施計画として、実施人数や検証項目を決定。

第2回：テレワーク試行の準備

- ①テレワーク試行前に社内研修を実施し、社内周知を図った。
- ②テレワーク時のICT環境として、既存ツールに加えWeb会議、リモートアクセスの各ツールを試行用に導入した。
- ③トライアル計画の内容を確認し、試行実施へ。

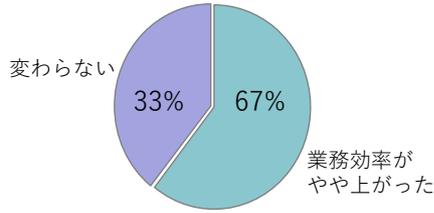
第3回：テレワーク試行結果の検証

- ①効果：社外から共有ファイルへアクセスできるようになり、社外でも業務ができる有効性を確認。テレワーク導入意識についても高まりを示した。
- ②課題：業務マニュアル等のデジタル化、社内外のコミュニケーションのIT化、ペーパーレス化を進める必要がある。
- ③導入に向けて：ICTツール活用の習熟や運用ルールの整備を行い、より働きやすくなる制度にしていく。

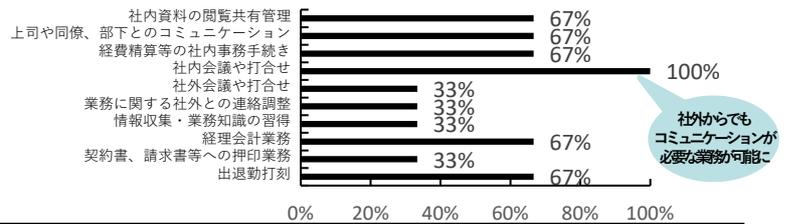


テレワーク試行の結果と今後の課題

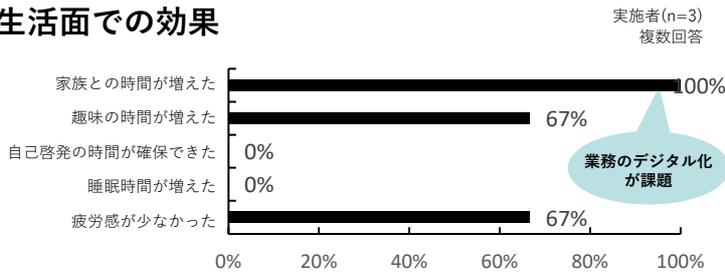
個人業務の効率



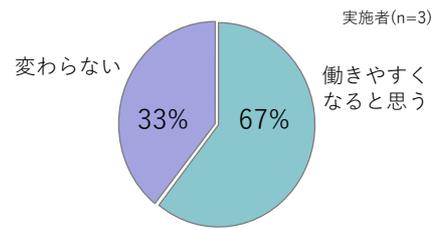
テレワークでもできるようになった業務



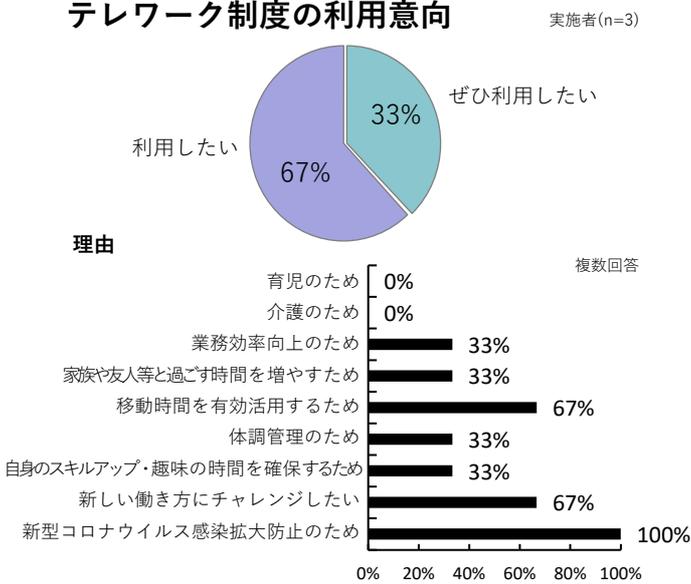
生活面での効果



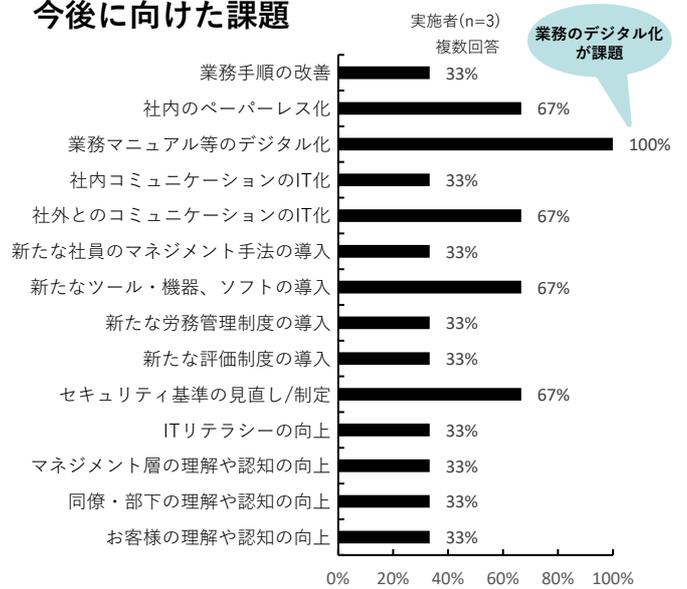
テレワーク活用の働きやすさ



テレワーク制度の利用意向



今後に向けた課題



《自由記述より》

- (+) 作業については問題なく導入できて本当に効果的です。
- (+) 初めてテレワークを導入して便利なのが認識できた。
- (-) サインや印鑑等は会社に出社する必要がある。
- (-) 椅子の高さや照明等、長時間パソコンに向かうには適していない。

今回の支援を受けて

コロナ禍の環境は大きな転機にはなりましたが、世界は既にテレワークや在宅は常識となっています。DXも進んでいるので、人生を豊かにするためにもテレワークは必要だと感じています。

アドバイザー派遣では、豊富な知識と中立な立場に立ってアドバイスをして頂きました。弊社の課題に対して具体的な提案をして頂いたことは、非常に役立ちました。

今後は、2021年度早々に、月8日程度テレワーク勤務ができる制度の導入を進めていきたいと思っています。

株式会社アレス

企業概要

- ・本社所在地 : 神奈川県川崎市高津区北見方1丁目28番4号
- ・業種 : 建設業
- ・従業員数 : 3名
- ・設立 : 平成22年1月8日
- ・主たる事業 : 建設業

テレワーク導入目的

- ・事業運営コストの削減
- ・従業員の働き方の改善
- ・新型コロナウイルス感染予防

テレワーク導入で目指す効果

1. 業務プロセスの見直し
2. タブレットやスマートフォンを活用したモバイルワーク、直行直帰の活用
3. ITツール活用による事務作業、報告・連絡の効率化

今回の取り組み内容

第1回：現状確認と課題の整理、試行計画

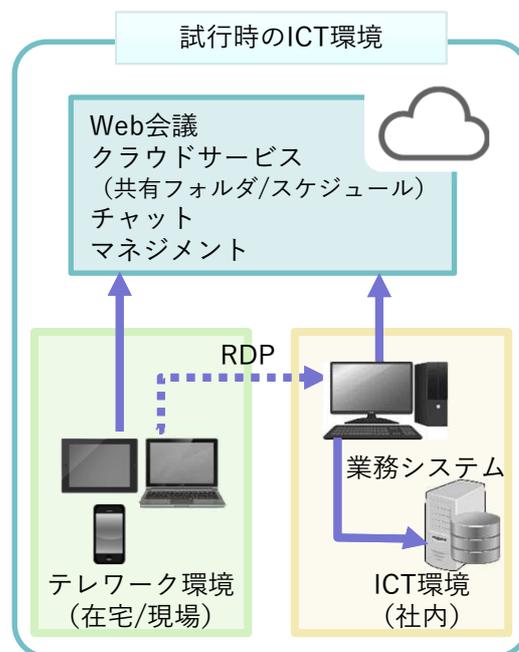
- ①ICT環境については、従来よりGoogleDriveを一部社員で利用しており、試行では、社外や在宅での業務情報の共有のためチームでの活用を進める。勤怠連絡や打ち合わせ等、社内のコミュニケーションもツールを活用しIT化を進める。
- ②見積書等、できるところからペーパーレス化を進めていく。

第2回：テレワーク試行の準備

- ①テレワーク時のICT環境として、現場用にiPad、WEB会議ツールを導入し、情報共有のためGoogleDrive活用の準備を行った。
- ②「テレワークの試行に関する運用ルール」を参考に、時間管理や費用負担等についてルールを共有し実施。
- ③各業務の洗い出しを行い試行時に実効性を検証。

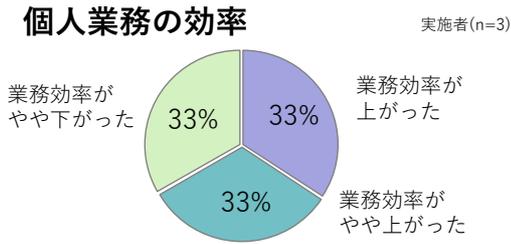
第3回：テレワーク試行結果の検証

- ①効果：社外から共有フォルダへアクセスできるようになり、社外でもできる業務が拡大した。移動時間は全社員が1～2時間以上短縮、個人業務の効率化も図れ、テレワークへの理解が深まった。
- ②課題：業務手順の改善やICTリテラシーの向上、社外への理解・周知も進める必要がある。
- ③導入に向けて：ICTツールの習熟、テレワーク不可業務の要因に応じた業務見直し等改善を進める。

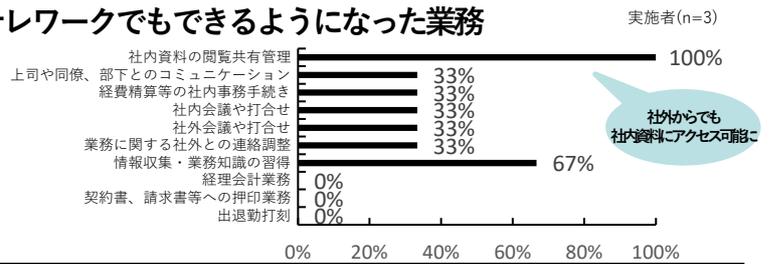


テレワーク試行の結果と今後の課題

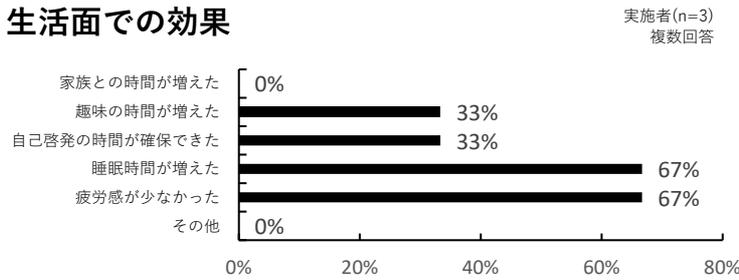
個人業務の効率



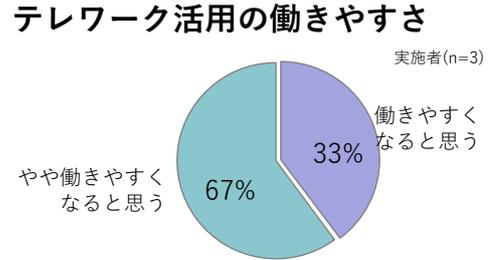
テレワークでもできるようになった業務



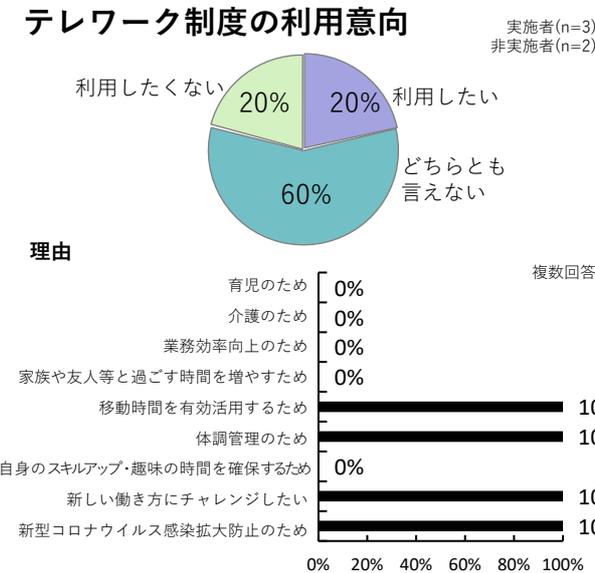
生活面での効果



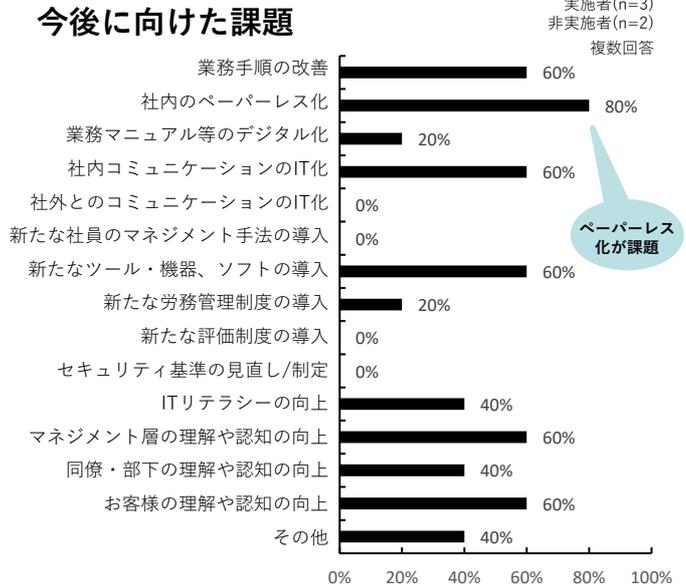
テレワーク活用の働きやすさ



テレワーク制度の利用意向



今後に向けた課題



《自由記述より》

- (+) 現場図面、写真の共有では有効に活用できています。この共有が今のところ一番役に立っています。
- (+) 新たな勤務形態がある事が気が付いた。現状のコロナ社会の状況に適應する勤務形態として適切である。
- (-) (FAXが無くて取引先に書類が送れない等。) 必要な書類が社内のみであった点。
- (-) まだツールに対する習熟度が足りないので時間が必要だと思います。

今回の支援を受けて

今回事業に参加して、業務の改善点を指摘していただいていた気づきを得たことや、テレワーク試行の推進において丁寧にフォローしてもらったことが大変良かったと思います。

建設業界の形態上アナログ業務が大半の中、テレワークで施行できる業務の発見、今後の活用についてのビジョンが見えたのが一番意義のある点だと思います。

今後もアイデアや工夫次第でもう少しテレワークで対応できる業務が増えるかもしれないと感じています。準備が整い次第、テレワーク制度を自社に導入していきたいと思っています。

特定非営利活動法人いのちとこころ

企業概要

- ・本社所在地 : 横浜市南区睦町1丁目6番地の13 第2睦ハイム1階
- ・業種 : サービス業
- ・従業員数 : 2名
- ・設立 : 2007年
- ・主たる事業 : 高齢者・生活者支援事業、がん患者支援事業、相談業務事業、助成金受託事業、上記に係わるその他付帯的事業

テレワーク導入目的

- ・生産性向上、新サービスの開発、業務プロセスの革新
- ・事業運営コスト（通勤費・オフィス費用・通信料等）の削減
- ・職場におけるコミュニケーションの活性化

テレワーク導入で目指す効果

1. 離れた場所からの会議実施やコミュニケーションをする
2. 現状の業務が可能となるツールの試用をする
3. 相談者にもオンライン相談のやり方を教えることができる

今回の取り組み内容

第1回：現状確認と課題の整理、試行計画

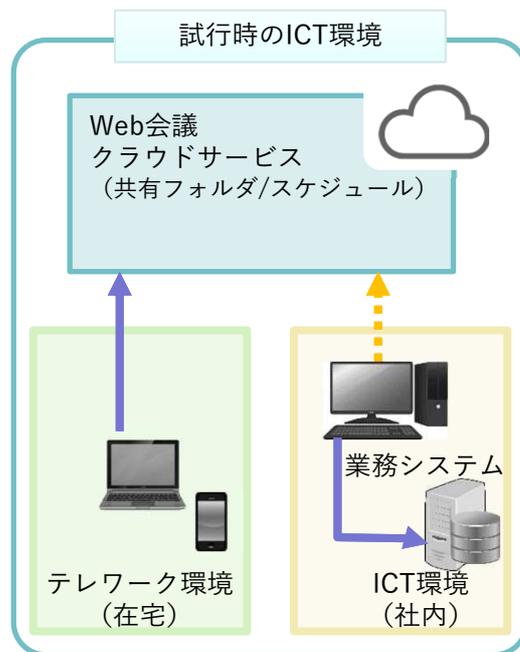
- ①現状のICT環境の確認と、試行時の業務情報への遠隔アクセス方法としてGoogleDrive活用の確認、コミュニケーション等、試行環境を検討。
- ②試行のねらい、実施対象者の決定等、試行計画の策定。

第2回：テレワークトライアルの準備

- ①試行時のコミュニケーションツールZoomの使用方法についての確認、GoogleDriveによるファイル共有方法を確認した。
- ②「テレワークの試行に関する運用ルール」を参考に、セキュリティや勤怠連絡等についてルールを共有。
- ③試行計画の内容を確認し、ツール準備、試行実施へ。

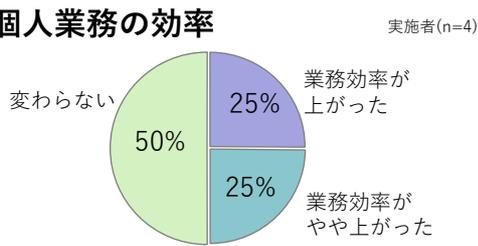
第3回：テレワークトライアルの検証

- ①効果：自宅からファイルの編集を行ったり、WEB会議を開催できるようになったことで、事務所に行かなくても通常業務が可能になる、業務効率向上、時間の有効活用等、テレワークの有効性を確認。制度利用意向についても全員が前向きな意向を示した。
- ②課題：社内資料のペーパーレス化やICTツール活用のためのさらなる習熟が必要。
- ③導入に向けて：継続してテレワークを活用し、ツールの習熟機会を増やすこと、運用ルール策定を提案。

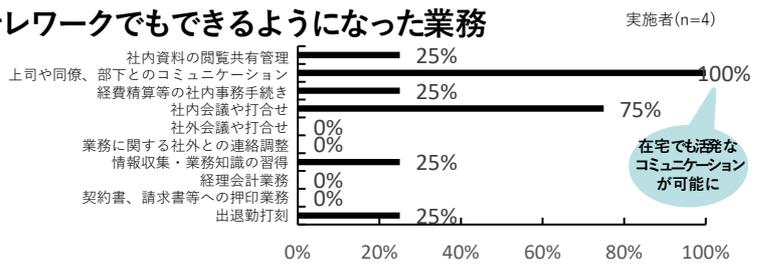


テレワーク試行の結果と今後の課題

個人業務の効率

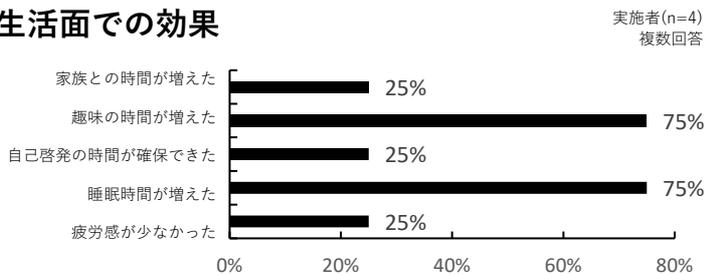


テレワークでもできるようになった業務

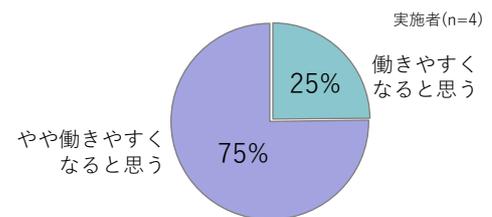


在宅でも活発なコミュニケーションが可能に

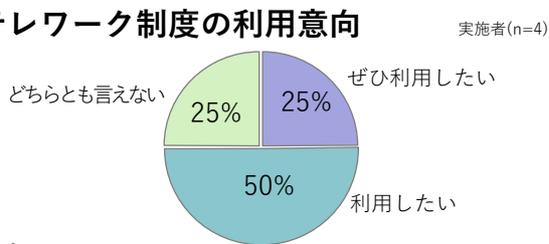
生活面での効果



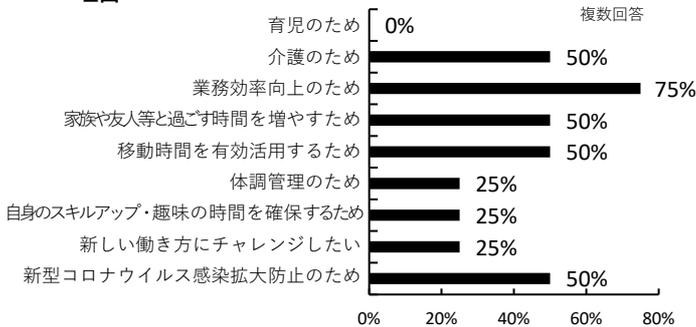
テレワーク活用の働きやすさ



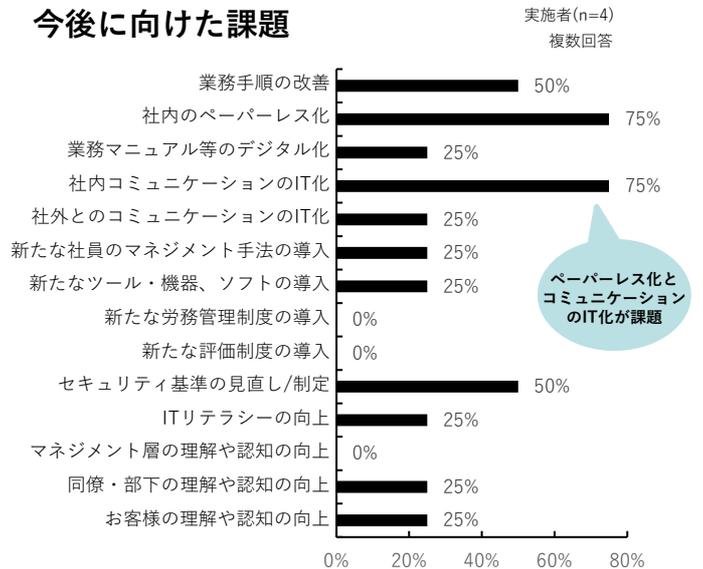
テレワーク制度の利用意向



理由



今後に向けた課題



ペーパーレス化とコミュニケーションのIT化が課題

《自由記述より》

- (+) グーグルドライブでファイルを共有し、修正する作業も実施できました。
- (+) Zoom初心者が使えるようになり、簡単に自宅で打ち合わせができるようになったことが非常に良かったです。
- (+) 移動時間の減少による体力疲労が少ない
- (-) 言葉を発しないのは精神衛生上良くないと思った。そのため、たわいない会話時間の重要性を感じた。
- (-) 自分の仕事時間に家族から声をかけられると、画面の相手にも伝わるので気分がよくない。

今回の支援を受けて

パソコン機器の扱いに慣れていないスタッフに懇切丁寧にお教えくださり、感謝しています。Zoom初心者だったスタッフが会議を開催できるようになりました。資料を画面共有しながら複数人で打合せができることはとても良かったと思います。

Zoomの画面表示されているマーク等、60代以上の年齢では習得するのに時間を要するため、はじめはそれを懇切丁寧に教えてくれるスタッフが、通常業務以外に必要なだと思いました。

また、グーグルドライブを使ってファイルを共有し、在宅での業務も可能となり、通勤時間の短縮に繋がりました。

コアフューテック株式会社

企業概要

- ・本社所在地 : 神奈川県川崎市中原区新丸子東2-888 KTSビル2階
- ・業種 : 情報通信業
- ・従業員数 : 56名
- ・設立 : 1983年
- ・主たる事業 : ソフトウェアテスト・開発、ログ解析ソリューション

テレワーク導入目的

- ・テレワークでの業務遂行の可否・効率の検証をする
- ・社内外コミュニケーションの可能性を探り、在宅勤務の推進を行う

テレワーク導入で目指す効果

1. 感染症対策等BCP対策としてテレワークの有用性の確認
2. 育児・介護等、特別な事情のある社員の就業継続、優秀な人材確保
3. 客先常駐社員や在宅勤務実施時の業務連携の確認とともに、コミュニケーションの活性化を図る

今回の取り組み内容

第1回：現状確認と課題の整理、試行計画

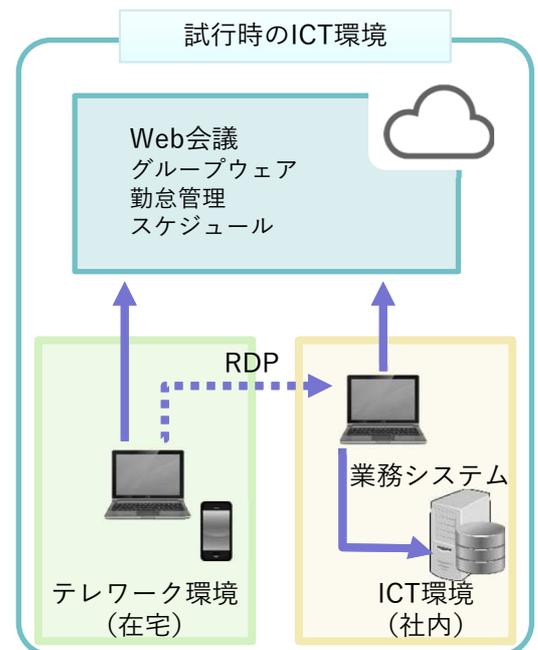
- ①ICT環境は、社外から業務システムへアクセス可能な環境もあるが、コミュニケーションもツールを使用しデジタル化を図る。
- ②紙資料も多いためペーパーレス化も整備していく。

第2回：テレワーク試行の準備

- ①テレワーク時のICT環境の整備。既存ツールとの比較としてリモートアクセスツール、情報共有・コミュニケーション活性化の為バーチャルオフィスを試行用に導入。
- ②テレワークに必要なルールを検討しトライアルにて検証。

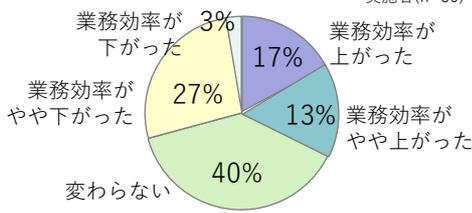
第3回：テレワーク試行の検証

- ①効果：オフィスと同様に業務効率を落とさずに勤務が出来た。ワークライフバランスの向上も図れた。テレワーク導入および制度活用の意欲向上が図れた。
- ②課題：在宅勤務時の執務環境のマイナス影響があった。紙資料のペーパーレス化だけでなく、業務手順の改善を行い業務の見える化を進める必要がある。
- ③導入に向けて：テレワーク勤務制度の策定。対象者拡大に向けた業務・ツールの整備。

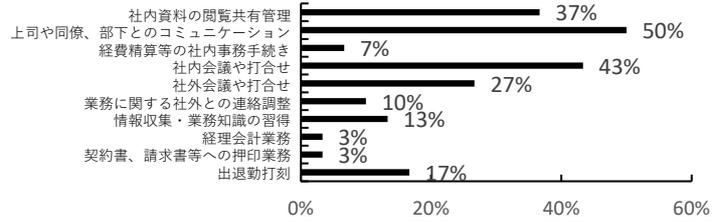


テレワーク試行の結果と今後の課題

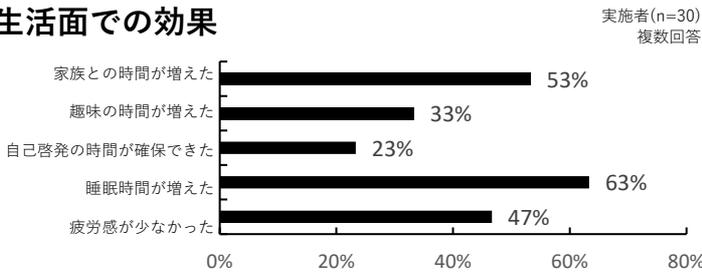
個人業務の効率



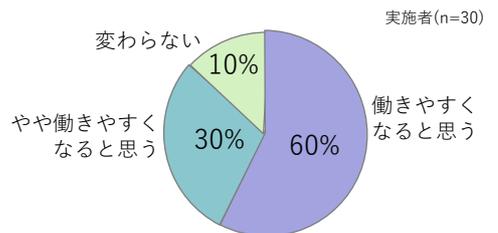
テレワークでもできるようになった業務



生活面での効果



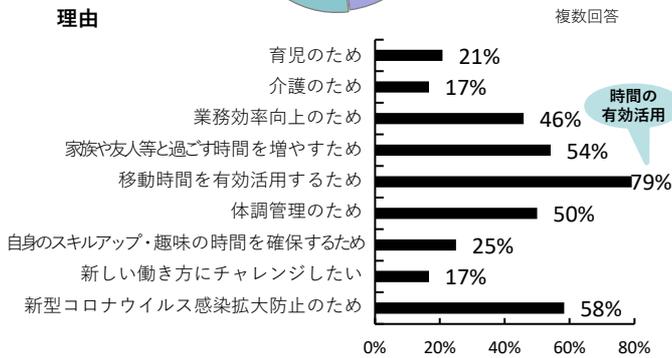
テレワーク活用の働きやすさ



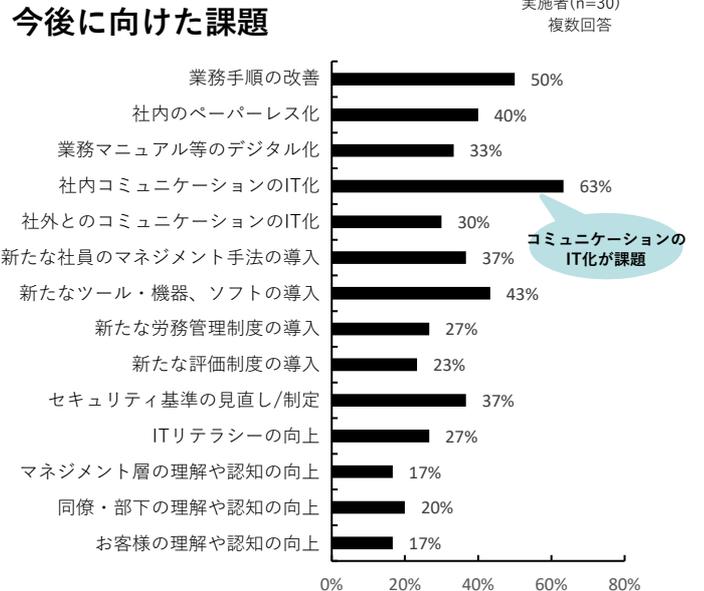
テレワーク制度の利用意向



理由



今後に向けた課題



コミュニケーションのIT化が課題

《自由記述より》

- (+) 定型業務（手順が確立された作業）はテレワークのほうが効率が良いです。
- (+) レビューやコミュニケーションが出社時よりも取りやすいことを実感できてよかったと思います。
- (-) 自身のモチベーションが保てない日と保てる日があり、その要因がはっきりしておらず、管理が完全ではない。
- (-) 仕事専用スペースの確保が必要なこと。
- (-) 社員によってはテレワークができない人もいて、不公平感もあったと思う。

今回の支援を受けて

アドバイザー派遣事業に参加して、ツールの使用や他との比較等が出来た事はとても良かったです。また、一般的な他社の傾向やアンケートの集計結果のアドバイス等も今後の検討に役立てることが出来ると思います。

仕事の環境を変える事での不便さは慣れない間は多々ありますが、利点も明確にあるため、実施しながら皆で意見を出し合い問題を解決していきたいと思います。

今後は、このままテレワークを継続して、来期より事務所内で本格的に導入していきたいです。

株式会社古賀電子

企業概要

- ・本社所在地 : 神奈川県平塚市東真土2-5-3
- ・業種 : 製造業
- ・従業員数 : 18名
- ・設立 : 1985年
- ・主たる事業 : プリント基板の実装を中心とした電子機器の受託製造

テレワーク導入目的

- ・業務プロセスの革新
- ・家庭にやむを得ない事情を抱える人材の離職抑制、就労継続支援

テレワーク導入で目指す効果

1. ワークライフバランスの向上等働き方改革の実現
2. 新型コロナウイルス感染症対策

今回の取り組み内容

第1回：現状確認と課題の整理、試行計画

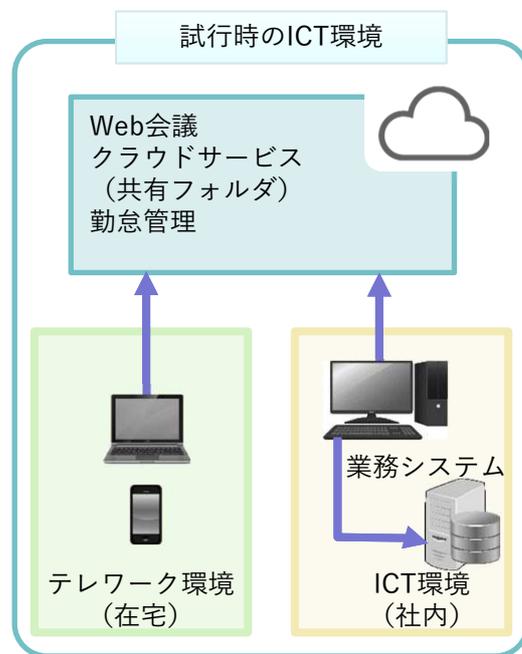
- ①現状のICT環境の確認と試行時の利用ツールの説明。
- ②工場の現場業務ではテレワークの活用ができない等、現状の対象業務や今後の可能性について確認。
- ③試行概要（スケジュール等）の説明と試行で行う業務（経理、打合せ）等実施内容を決定。

第2回：テレワーク試行の準備

- ①テレワーク時のICT環境として、リモートアクセスツール、Web会議ツール、勤怠管理ツールを試行用に導入した。
- ②テレワークにあたり、社内での運用ルールの確認を依頼「テレワークの試行に関する運用ルール」を参考に、社内での運用ルールについて共有し実施。
- ③実施業務の洗い出しを行い試行時に検証。

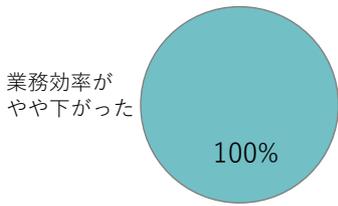
第3回：テレワーク試行結果の検証

- ①効果：自宅から経理業務や打合せが可能となることで、事務業務の一部をテレワークで行える有効性を確認。家族との時間が増える等、ワークライフバランスの向上を確認。
- ②課題：一部ICTツールでは設定等の支援が必要。業務のIT化、資料のペーパーレス化等の環境整備が課題。
- ③導入に向けて：長期的な展望の下、現場を持つ製造業でのテレワーク活用方針を定め、社内全体へのテレワーク活用の周知と共に、業務の見直し、デジタル化を推進していく。



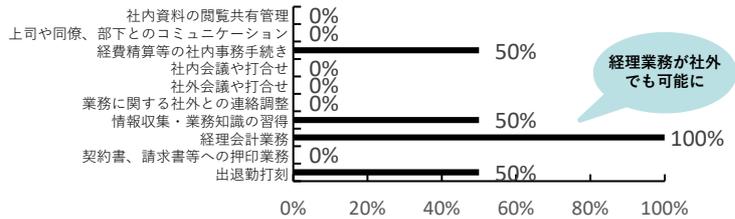
テレワーク試行の結果と今後の課題

個人業務の効率

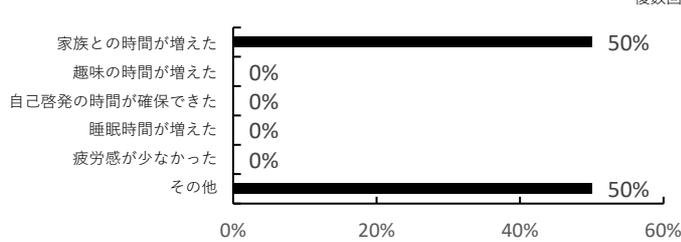


実施者(n=2)

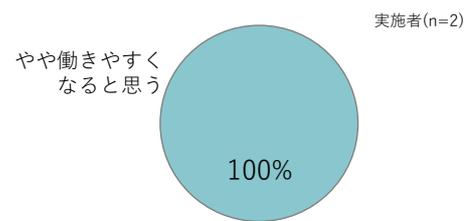
テレワークでもできるようになった業務



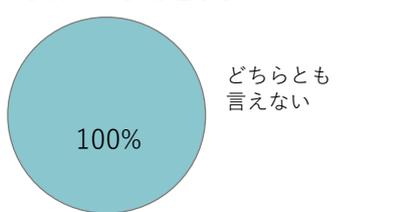
生活面での効果



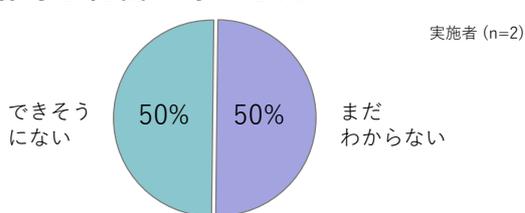
テレワーク活用の働きやすさ



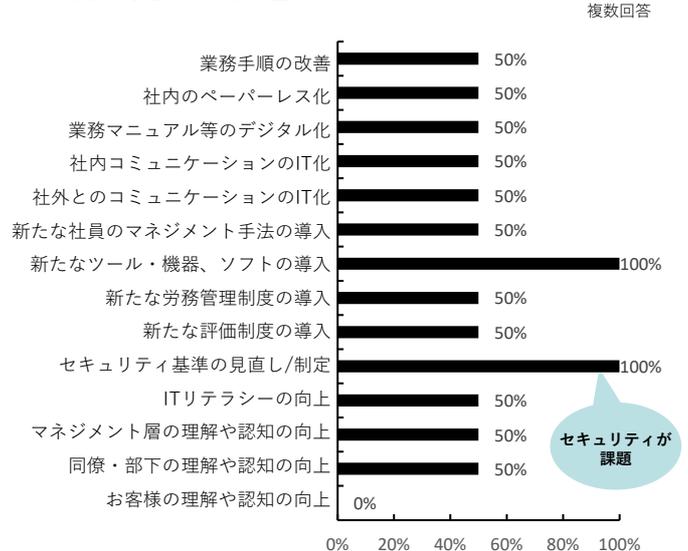
テレワーク制度の利用意向



本格的な制度の導入意向



今後に向けた課題



《自由記述より》

- (+) 良かった点は子供たちと顔を合わせる時間が増えた。
- (-) 困った点は製造会社のため常に現場での現物を見ての打ち合わせ等が多く、自宅では難しい部分が多かった。
- (-) 環境作りが難しく設備だけでなく環境の設定の支援が無いと導入は難しいと感じました。
- (-) 在宅だと私用の電話がかかってきたり、集中力が途切れる回数が多かった。

今回の支援を受けて

貴重な機会をご提供いただきまして誠にありがとうございました。

テレワークは社会的に推進されていることではあるものの、現場での業務をはじめ、全職種において実行できるものではないと改めて感じました。PC上で作業できることは可能でしたが、資料が書面のものについては量が膨大で在宅では行えず、特に今回の試行時期が繁忙期にあたったこともあり、その点についてはいますぐに改善する方法がない状況です。

ただ機械を在宅に持ち込めればよいわけではなく、作業する上での環境(静電対策等)を整えていくのはやはり難しい問題なのだと思います。

富士和電子株式会社

企業概要

- ・本社所在地 : 神奈川県大和市中央2-14-24
- ・業種 : 卸売業、製造業
- ・従業員数 : 44名
- ・設立 : 1975年3月
- ・主たる事業 : 電子部品・機器の販売、特注電源設計・販売

テレワーク導入目的

- ・生産性向上・業務品質向上、業務プロセスの革新、人材の確保・育成、災害・感染症対策
- ・全般的な業務プロセス改革
- ・育児/介護を担う人材、その他の事情による離職抑制、働き方の変革による生産性向上

テレワーク導入で目指す効果

1. 生産災害時のBCP対策/感染症対策（パンデミック）
2. 取引先顧客とのオンライン商談
3. 採用活動における企業ブランド・イメージ向上

今回の取り組み内容

第1回：現状確認と課題の整理、試行計画

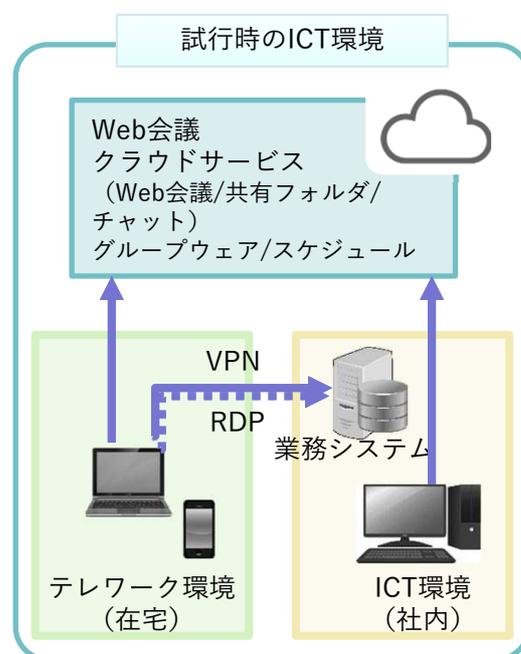
- ①テレワーク導入の背景や目的、期待する効果、最終的に目指す導入の形や企業としてのありたい姿等、現状と課題を確認。
- ②現状のICT環境確認と、試行時ICT環境・利用ツールの検討。
- ③業務見直しの進め方の説明。

第2回：テレワーク試行の準備

- ①ICT環境の決定、試行時に使用するコミュニケーションツールの事前レクチャを実施。
- ②策定中の「テレワーク勤務規程（案）」を、試行用に調整し共有、セキュリティやサービス等についてルールを周知。
- ③対象部門、人数等試行計画を確認し、試行実施へ。

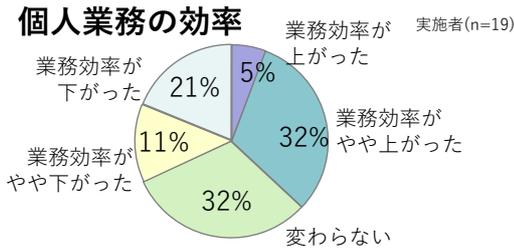
第3回：テレワーク試行の検証

- ①効果：社外からでも業務情報にアクセスし仕事ができるインフラが整い、テレワークの有効性を確認。試行実施者、未実施者ともテレワークへの理解が深まり、制度利用意向に対しても前向きな意見が得られた。
- ②課題：社内へ全社方針を共有した上で、全社的なルールに基づくICTツールの活用拡大が必要。
- ③導入に向けて：労務面等ルールの整備と並行して、テレワーク可能業務の拡大を目指し、業務の見直し（手順や電子化）を進める。

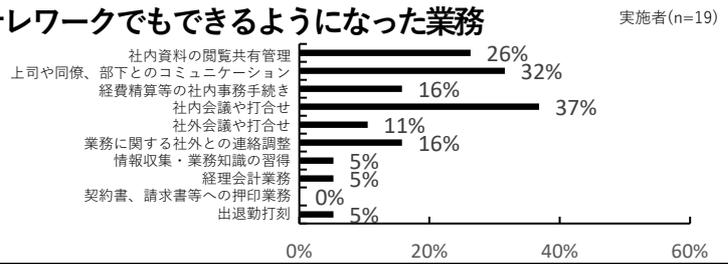


テレワーク試行の結果と今後の課題

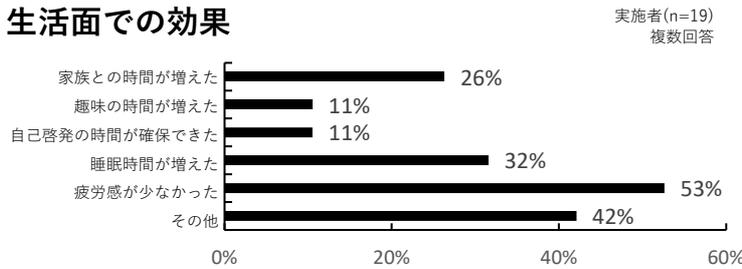
個人業務の効率



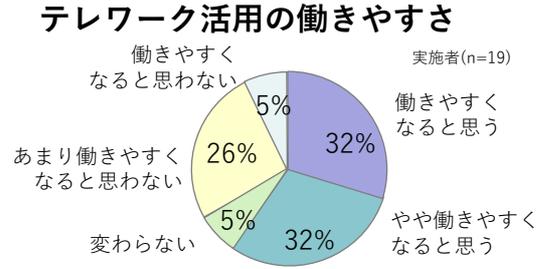
テレワークでもできるようになった業務



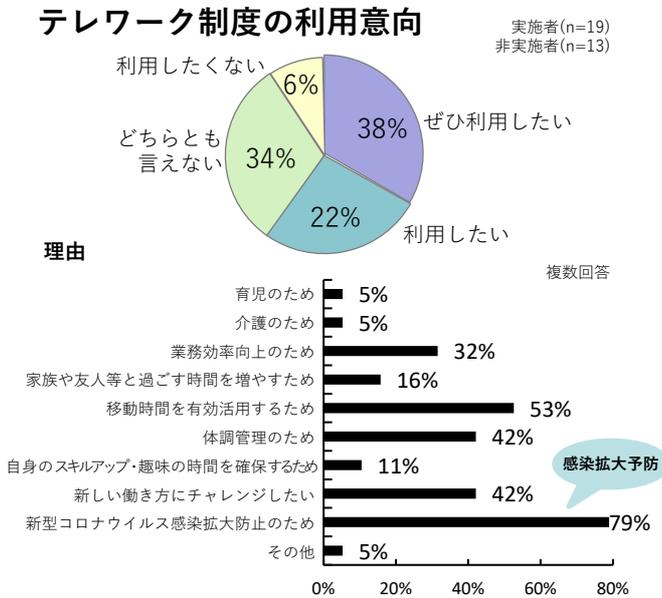
生活面での効果



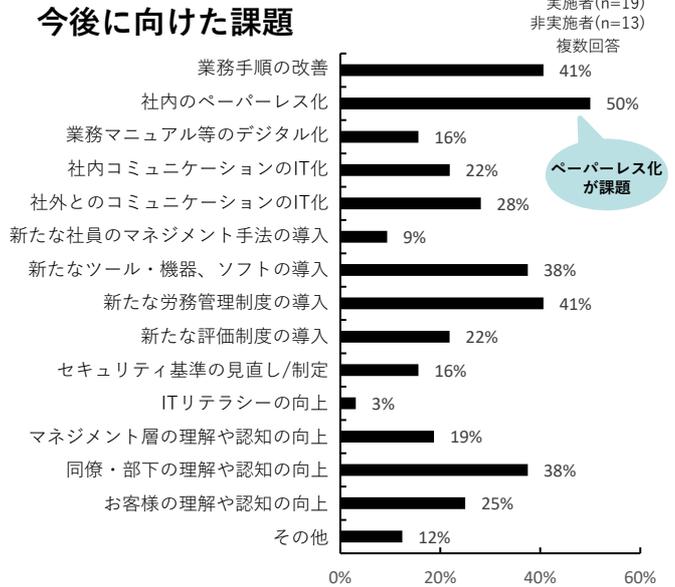
テレワーク活用の働きやすさ



テレワーク制度の利用意向



今後に向けた課題



《自由記述より》

- (+) 事務業務以外無い為集中して作業出来た。
- (+) 場所に変化を持たせることは精神上非常に良いと思う。
- (+) 全社員が違った働き方が可能だということ、会社として推進していく意向だと知っただけでも成果はあった。
- (-) 勤務時間すぎてもメールの確認等してしまいメリハリがなかった。
- (-) 商社で物流もあるため出来ない人がいます。自ずとこれらの部門はテレワークに対しては否定的にならないざるを得ないと感じました。
- (-) テレワーク実施者の方ができることが少ないため、テレワーク未実施者の負担が大きくなりがち。

今回の支援を受けて

元々代表が理想とする働き方の実現の為に（特に管理職への啓蒙・意識改革として）後押ししてくださったことに感謝します。自分たちだけでは推進力に欠けるところもあり、第三者から言われる方が受け入れやすいところはあったように思います。

試行を実施し、まずはやってみようという社内の気運が高まったことも非常に良かったです。

今後は、緊急事態宣言解除と同時にテレワークを本格導入できるよう対処していきたいと思います。

株式会社マイクロネット

企業概要

- ・本社所在地 : 神奈川県川崎市川崎区本町2-8-14
- ・業種 : 製造業
- ・従業員数 : 61名
- ・設立 : 1990年
- ・主たる事業 : コンピュータ機器関連のソフト・ハード受託開発、製品開発製造販売

テレワーク導入目的

- ・生産性向上
- ・非常時の事業継続対策
- ・採用活動への寄与・離職の抑制

テレワーク導入で目指す効果

1. コロナ禍でも可能な限り業務を止めずに設計開発を進める
2. 社内外共にコミュニケーションが可能な環境を整備し、業務効率化を推進する

今回の取り組み内容

第1回：現状確認と課題の整理、試行計画

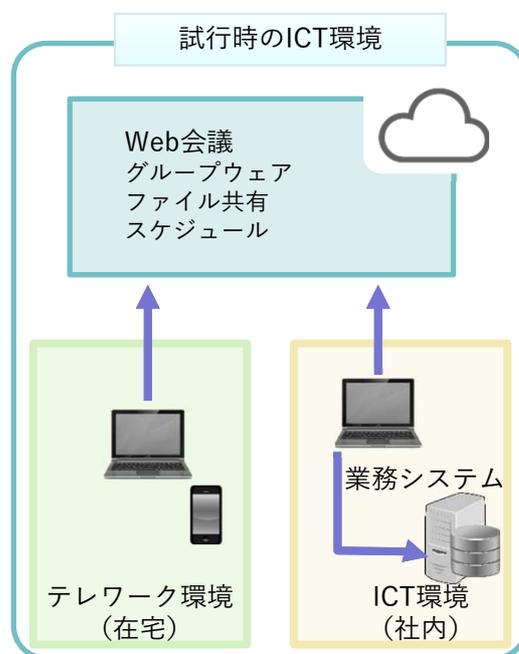
- ①ICT環境について川崎・信州の現状の相互利用状況を確認。
- ②試行時の派遣スタッフ管理やICT環境を整備する必要がある。
- ③情報セキュリティポリシーを具体的に整備する必要がある。
- ④テレワーク試行実施計画として、実施人数や検証項目を決定。

第2回：テレワーク試行の準備

- ①テレワーク時のICT環境として、既存ツールに加えWeb会議ツールを試行用に導入した。
- ②「テレワークの試行に関する運用ルール」を参考に、セキュリティや勤務時間等についてルールを共有し実施。
- ③トライアル計画の内容を確認し、試行実施へ。

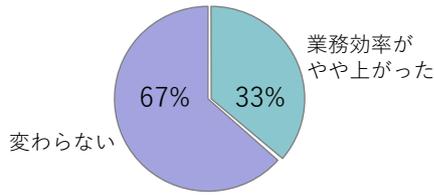
第3回：テレワーク試行の検証

- ①効果：社外から共有ファイルへアクセスできるようになり、社外でも業務ができる有効性を確認。テレワークの経験値が向上した。
- ②課題：ペーパーレス化、新たな評価制度の導入、ITリテラシー向上教育を進める必要がある。
- ③導入に向けて：制度方針を策定し、ICTツール活用や運用ルールの整備、社内への啓蒙を行い、より働きやすい制度にしていく。

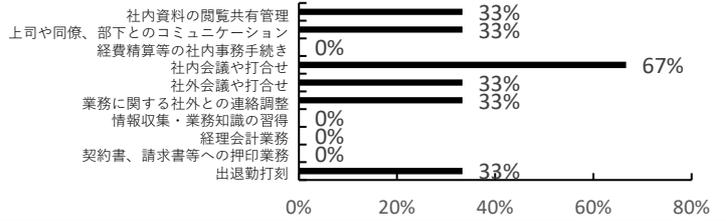


テレワーク試行の結果と今後の課題

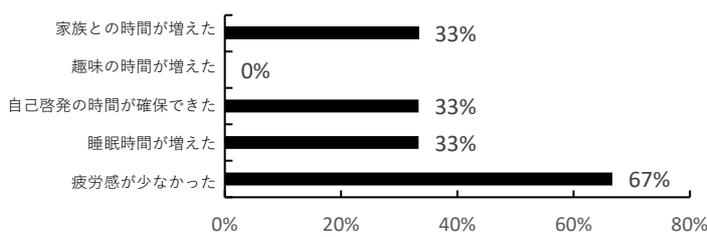
個人業務の効率



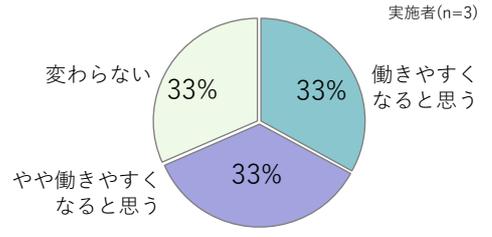
テレワークでもできるようになった業務



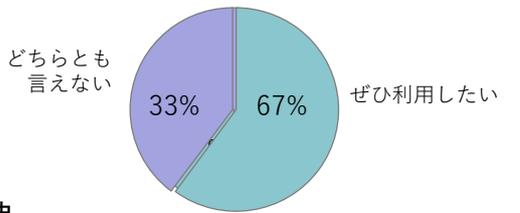
生活面での効果



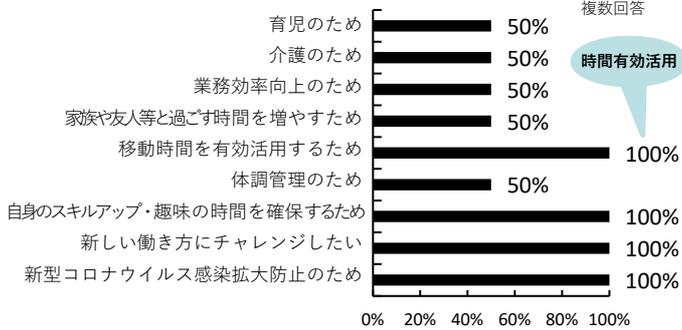
テレワーク活用の働きやすさ



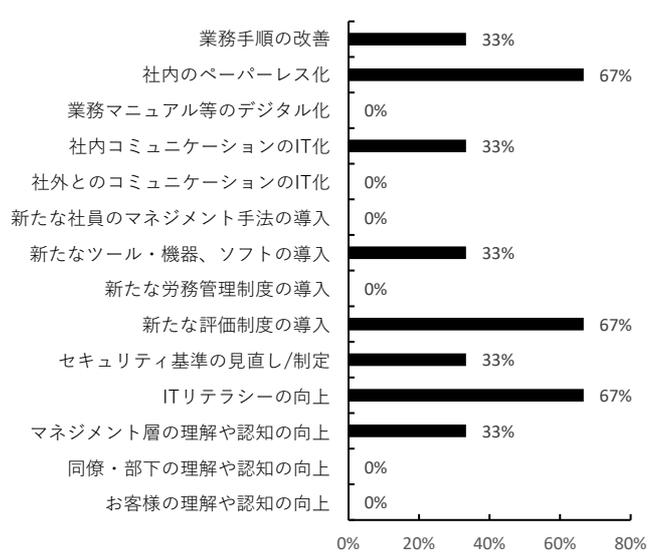
テレワーク制度の利用意向



理由



今後に向けた課題



《自由記述より》

- (+) お客様との業務でも以前は持ち帰りは絶対できなかった仕事がりモートワークになってきています。インサイドセールスでの引き合いがフィールドセールスを上回りました。
- (+) 実際やってみて抵抗感がなくなってきたこと、潜在的なニーズがあったことかと思えます
- (-) 管理者にとって営業職の管理がむずかしいのが課題です。
- (-) 自宅での勤務になれていないので集中できないことがあった。

今回の支援を受けて

本事業を通じて、アドバイザー様からテレワークのテクニカル面、運用面の最新情報を多数頂き、他社の事例や、実情をお聞きすることで、自社のシステムや状況の長所、短所を相対的に把握することができました。実際にモニターを行い、最後にまとめをしていただいたことで、今後行うべきことがより明確になりました。

行政の事業としての第三者からのアドバイザーというものは初めてでしたが、社内で推進するにはレバレッジが効きました。また、社内の他の部署にも潜在的なテレワークの要望があることもわかりました。

今後も経営と一般社員の間で、両サイドの意見を聞き、会社にとってどんな方向性がよいのかを考えて実行していきたいと思えます。ご支援をいただき誠にありがとうございました。

わしょクック株式会社

企業概要

- ・本社所在地 : 神奈川県相模原市南区上鶴間本町4-2-22
- ・業種 : サービス業
- ・従業員数 : 2名
- ・設立 : 2016年
- ・主たる事業 : 外国人向け料理教室を日本・世界に展開しているスクールビジネス、外国人に料理を教える事のできる講師の育成ビジネス（教育）

テレワーク導入目的

- ・新規事業の開発、新製品・新サービスの開発
- ・海外拠点の事業拡大、連携・コミュニケーション強化
- ・職場におけるコミュニケーションの活性化

テレワーク導入で目指す効果

1. 講師のITスキルの向上とコミュニケーションの活性化
2. オンライン集合研修を実施
3. PC環境の整っていない講師へのサポート

今回の取り組み内容

第1回：現状確認と課題の整理、試行計画

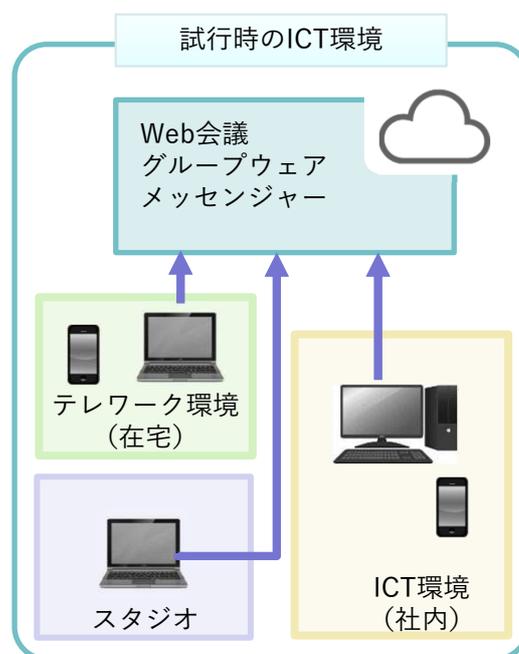
- ①ICT環境については、一部クラウドツールを利用しているが、コミュニケーションもツールを使用しデジタル化を図る。
- ②テレワーク試行実施計画として、実施部署・人数や検証項目を決定。
- ③個人の環境に依存しているため情報セキュリティに関する課題に対し改善策を検討した。

第2回：テレワーク試行の準備

- ①既存ツールに加えWeb会議ツールを試行用に導入した。
- ②「テレワークの試行に関する運用ルール」を参考に、セキュリティや勤務時間等についてルールを共有。
- ③試行計画の内容を確認し、試行実施へ。

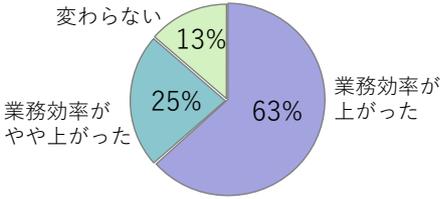
第3回：テレワーク試行の検証

- ①効果：Web会議ツールを活用し社外でも業務ができる有効性やコミュニケーションの活性化を確認。テレワーク導入意識についても高まりを示した。
- ②課題：新たなツール・機器の導入、社内外の理解・周知も進める必要がある。
- ③導入に向けて：ノウハウの共有や試行継続を実施し、より効果を得られる制度にしていく。海外に展開する上でクラウド上に仮想事務所設置も検討する。

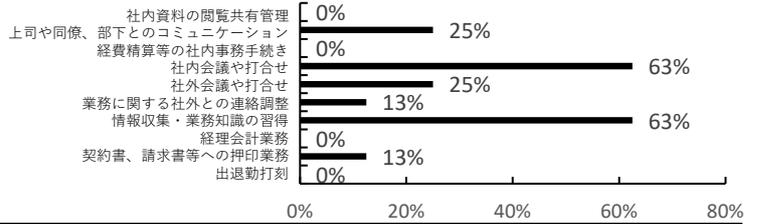


テレワーク試行の結果と今後の課題

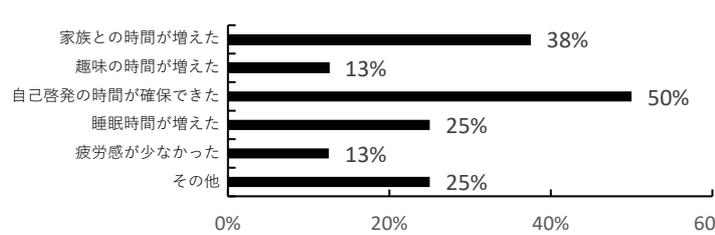
個人業務の効率



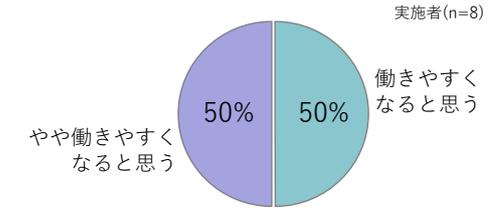
テレワークでもできるようになった業務



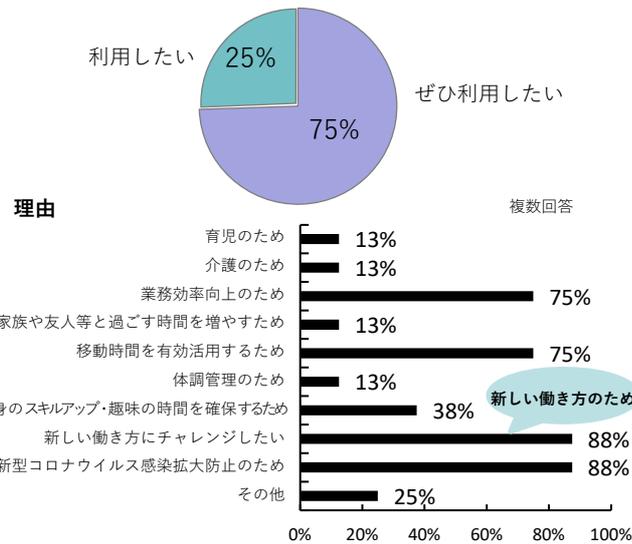
生活面での効果



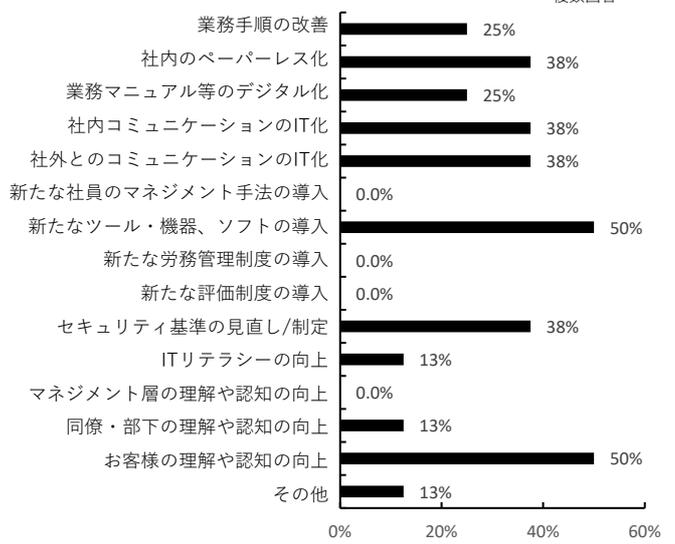
テレワーク活用の働きやすさ



テレワーク制度の利用意向



今後に向けた課題



《自由記述より》

- (+) 広範囲（海外も含めて）の方と仕事ができ、可能性が広がった。
- (+) ZOOMの機能を知り、積極的に活用することで、社員のコミュニケーションやオンラインスキルが高まった。
- (+) テレワークに違和感が全くなくなり、受け入れやすくなった。
- (-) 照明や機材等はじめにそろえるものが多く、また、改善したりと整えるまでに時間がかかった。
- (-) 自宅で教室を開催するにあたり、子供達はやはり外に出てもらわないといけないので家族の協力が必須で、そこが難しいと感じ意識が高まるのを抑える原因にもなっています。

今回の支援を受けて

専門家の知識を頂き、今後の事業への参考になりました。社員同士のコミュニケーションが活発になり、仕事の効率も向上しました。助成金も頂いたことで環境がよくなり仕事のはかどるようになったと思います。

テクニカルなサポートを頂いたこと、現状の課題と今後のアクションのアドバイスを頂いたことも、大変参考になりました。

2021年3月以降、一定のルールの下社員が活用できる制度としてテレワークを導入していこうと思っています。

一般社団法人H&P

企業概要

- ・本社所在地 : 神奈川県横浜市栄区若竹町5番14号
- ・業種 : サービス業
- ・従業員数 : 15名
- ・設立 : 平成30年4月
- ・主たる事業 : 事務（BPO事業）

テレワーク導入目的

- ・生産性向上・業務品質向上
- ・人材の確保・育成（家庭で育児を担う人材の離職抑制、就労継続支援）
- ・職場におけるコミュニケーションの活性化

テレワーク導入で目指す効果

1. 社内外共にオンラインコミュニケーションの活性化
2. 運用ルール等の整備
3. 業務プロセスの見直し

今回の取り組み内容

第1回：現状確認と課題の整理、試行計画

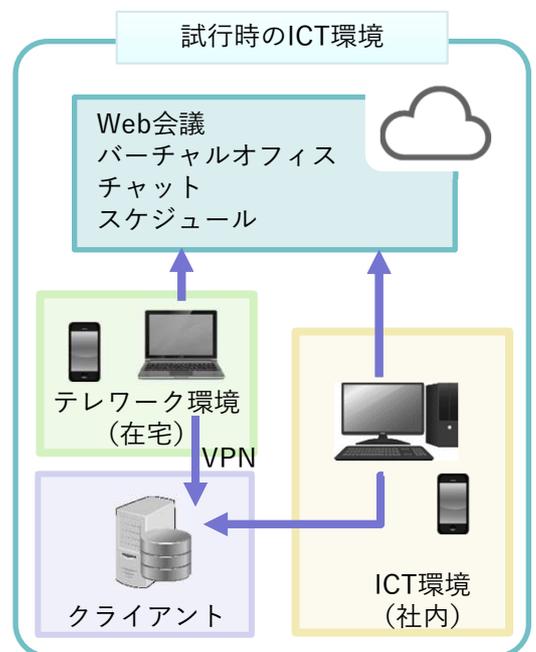
- ①ICT環境については、クライアント環境を使用しているため、自社環境を整備する必要がある。
- ②請負業務の遂行上、セキュリティ面からBYOD（個人PC等の利用）ルールを作る必要がある。
- ③テレワーク試行実施計画として、実施人数や検証項目を決定。

第2回：テレワーク試行の準備

- ①テレワーク時のICT環境として、Web会議、コミュニケーションツールを試行用に導入した。
- ②「テレワークの試行に関する運用ルール」を参考に、セキュリティや勤務時間等についてルールを共有し実施。
- ③業務委託ワーカーのセキュリティ環境等整備等について紹介。

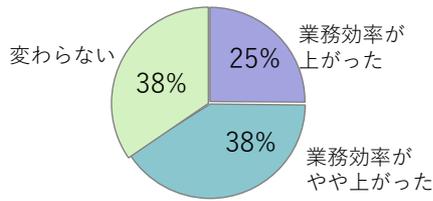
第3回：テレワーク試行の検証

- ①効果：社外からバーチャルオフィスツールを利用し、今まで取りづらかったコミュニケーションも取れるようになり、社外でも業務ができる有効性を確認。テレワーク導入意識についても高まりを示した。
- ②課題：社内外のコミュニケーションのIT化や業務手順の改善も進める必要がある。
- ③導入に向けて：試行で得られたノウハウを社内で共有し、さらなる効率化を図るとともに、自社のICT環境の整備（機器・セキュリティ）や、その運用ルール策定等も進める。

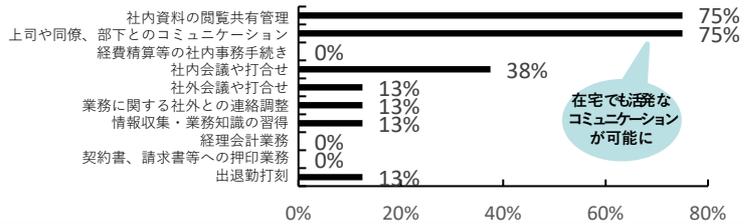


テレワーク試行の結果と今後の課題

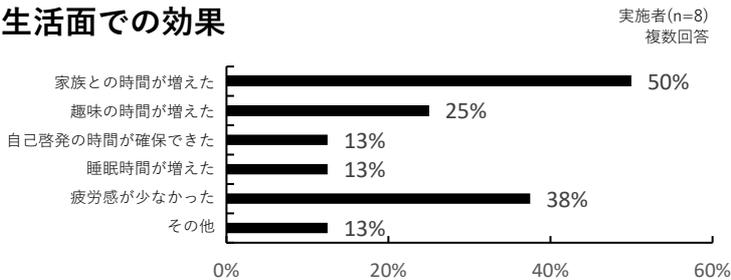
個人業務の効率



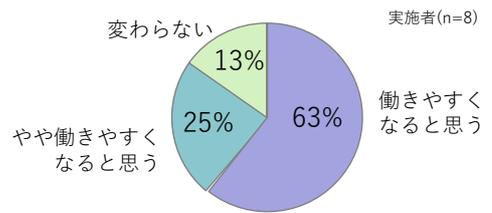
テレワークでもできるようになった業務



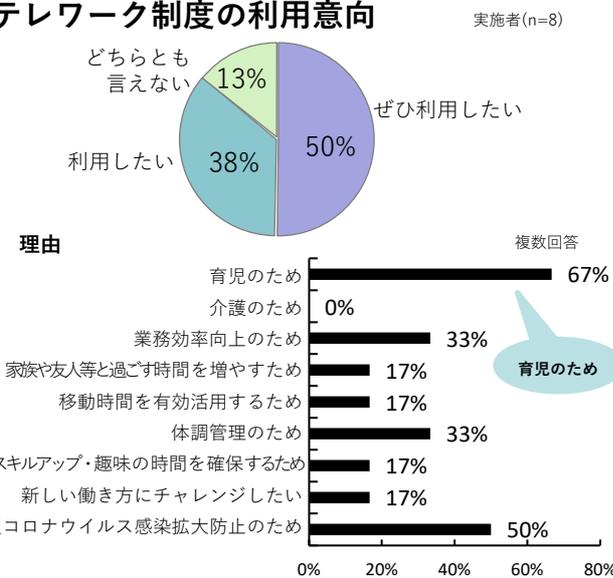
生活面での効果



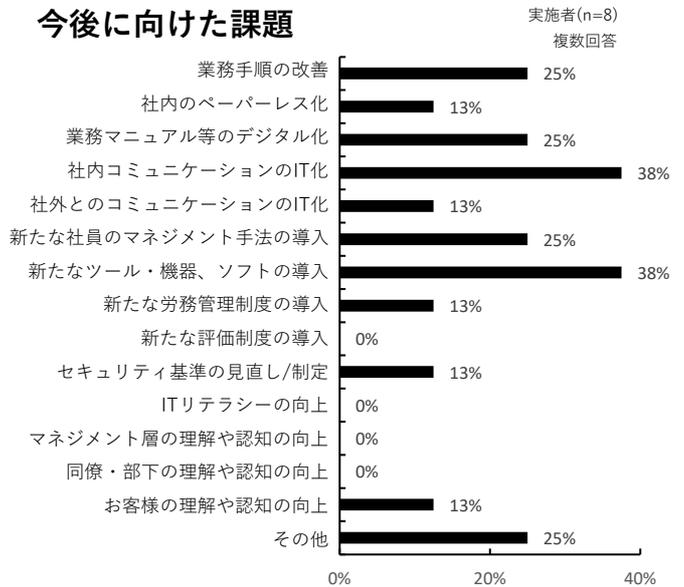
テレワーク活用の働きやすさ



テレワーク制度の利用意向



今後に向けた課題



《自由記述より》

- (+) 通勤の必要がなく、体力を温存してベストなコンディションで仕事にのぞめた。
- (+) Sococo (バーチャルオフィスツール) を使用することにより、同じ業務の担当者同士で随時進捗状況等のすり合わせが行えたことが良かった。
- (+) 現状の課題や次のステップ等が具体化できたことがよかった。
- (-) 集中力の持続が難しい日もあった。

今回の支援を受けて

見よう見まねでスタートしたテレワークですが、現状の脆弱な環境やシステム等を、多角的に分析・指導いただけて、課題解決に向けて今後どのように進めていくかを具体的にイメージできたことは本当に助かりました。

今後は、さらなる環境整備を進め、テレワークを当たり前の働き方として、一定のルールの下社員が活用できる制度として導入したいと思います。

今後ともいろいろなステージでご相談、ご指導いただくと助かります。よろしくお願いいたします。

株式会社Real

企業概要

- ・本社所在地 : 神奈川県横浜市西区浅間町1-4-3 ウィザードビル1階
- ・業種 : サービス業
- ・従業員数 : 70名
- ・設立 : 平成18年1月
- ・主たる事業 : 労働者派遣事業、有料職業紹介事業、製造委託事業

テレワーク導入目的

- ・働き方の変革による生産性向上
- ・業務プロセスの革新
- ・採用活動における企業ブランド・企業イメージの向上

テレワーク導入で目指す効果

1. WEBでコミュニケーションを取れるようにし派遣社員の働き方相談を実施する
2. 各種明細、契約書等をペーパーレス化し、タイムリーな対応を実現したい
3. 応募者との面接や営業をオンライン対応可能にし、機会損失を無くしたい

今回の取り組み内容

第1回：現状確認と課題の整理、試行計画

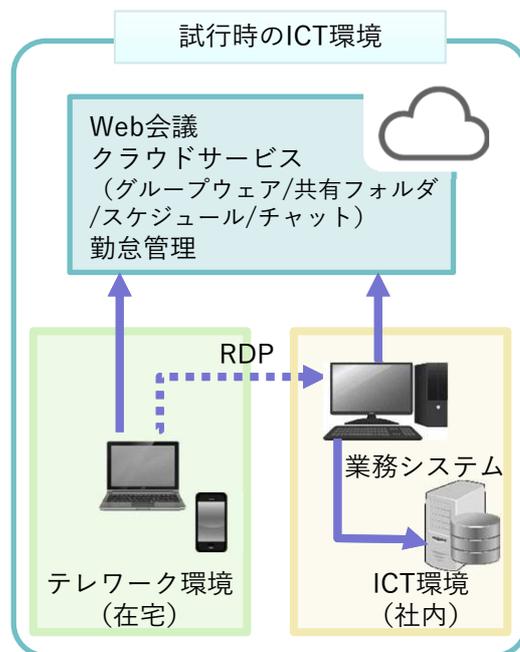
- ①業務情報への遠隔アクセス、コミュニケーションのIT化に加え、派遣社員管理のペーパーレス化のためのICT環境を検討。
- ②実施対象部署・検証項目を決定。試行実施計画を策定。
- ③テレワーク試行に向けて個々の業務見直しを行い、課題を見つけ改善策を検討した。

第2回：テレワーク試行の準備

- ①テレワーク時のICT環境として、既存ツールに加えWeb会議、リモートアクセス、勤怠管理の各ツールを試行用に導入した。
- ②「テレワークの試行に関する運用ルール」を参考に、セキュリティや勤怠連絡等についてルールを共有。
- ③試行計画の内容を確認し、ツール準備、試行実施へ。

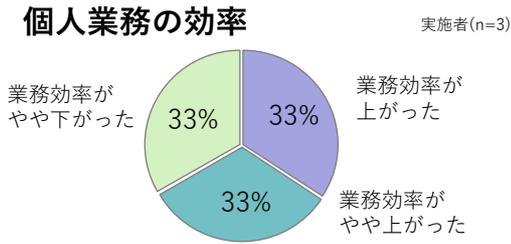
第3回：テレワーク試行結果の検証

- ①効果：社外から社内の共有フォルダへアクセスが可能になり、社外でも一定の業務ができる有効性を確認。社内外とのWeb会議の機会も持つことができ、社員のテレワーク導入への理解も高まった。
- ②課題：業務手順の改善やICTリテラシーの向上、社外への周知も進める必要がある。
- ③導入に向けて：試行を拡大継続しながらIT研修・制度整備を進め、派遣社員や顧客等社外への活用支援も期待。

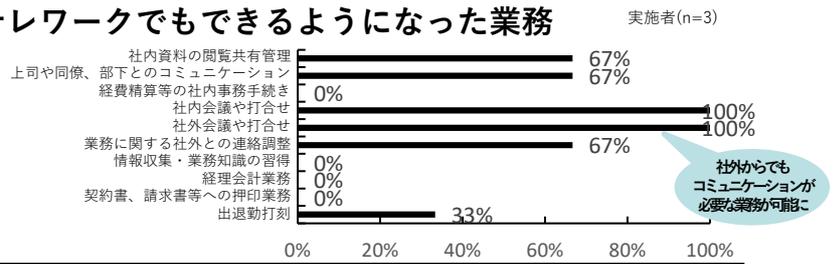


テレワーク試行の結果と今後の課題

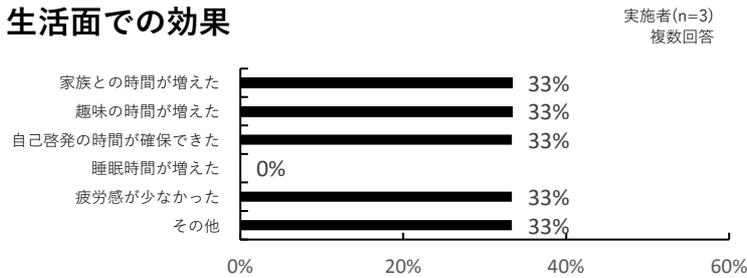
個人業務の効率



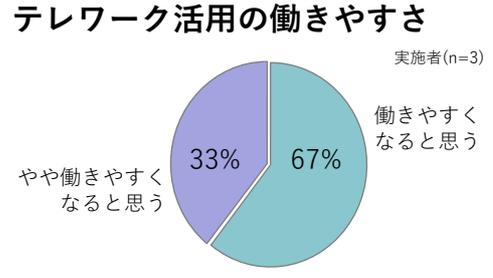
テレワークでもできるようになった業務



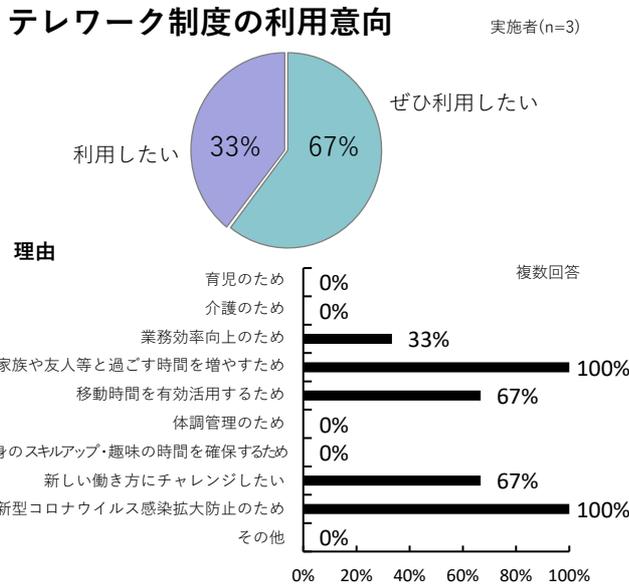
生活面での効果



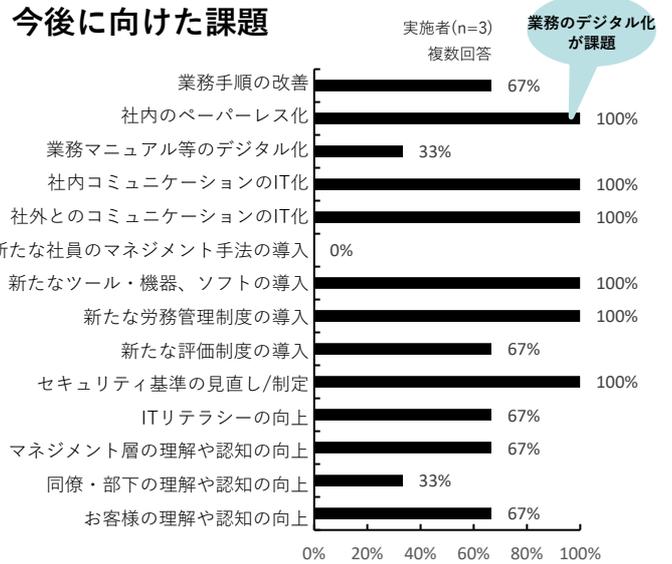
テレワーク活用の働きやすさ



テレワーク制度の利用意向



今後に向けた課題



《自由記述より》

- (+) ペーパーレス化にするためのシステムについて様々な資料を見直すことができてよかった。
- (+) 緊急事態宣言下でも業務が滞りなく遂行できたのは良かった。
- (-) ミーティングで時間厳守ができる点や記録に残せる点がありますが、慣れていないせいか、打合せの雰囲気が変わり雑談等がなくなった点は残念でした。
- (-) 仕事とプライベートの気持ち的な線引きが難しいと思いました。

今回の支援を受けて

まずは、今回ご支援をくださったアドバイザーの方、神奈川県補助金担当者の方にお礼を申し上げます。申請～選定～試行までとてもスムーズに実行できて大変助かりました。

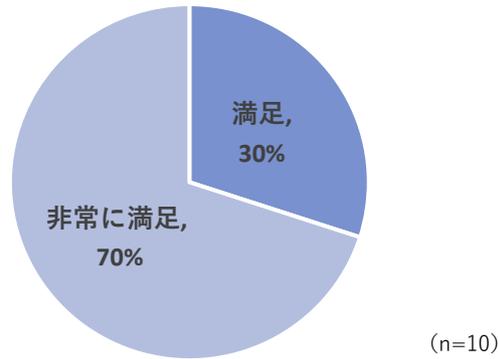
導入設備やネットワーク回線、ツール等、事例や流行も織り交ぜながら細部にわたりアドバイスを下さった他、弊社の事業内容や組織をご理解いただいた上で弊社の未来図の共有もして下さった為、試行にあたり信頼して取り組む事ができました。

「今、足りない物は何か？試行あたっての準備の優先順位は何か？参加者のミッションとその目的は何か？」までを明確にして下さったので、試行も上手くいったのだと思います。現時点ではまだ手探りの段階ですが、今回の取り組みを行った結果、営業部門や事務部門の意識改革もできましたので、コロナ禍が長期化しても業績を伸ばす事ができると確信しております。

私個人としても従業員に対しては給与や福利厚生面の改善をすれば良いのだと、今まではそればかりに目を向けておりましたが、業務環境の整備をする事によっても、従業員にとっての良い会社にする事ができると考えを改める事ができました。本事業に参加させて頂いた企業の一員として、テレワークの活用により更なる発展をしていきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。

参加企業へのアンケート結果

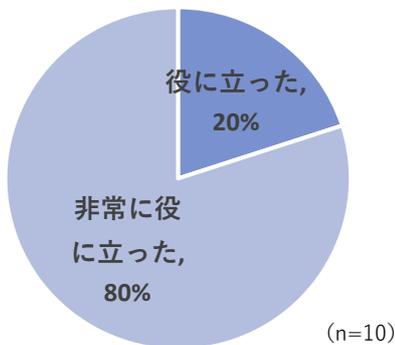
テレワーク導入支援事業の満足度



理由：

- ・テレワークを実施するきっかけとなり、スタッフが機器の操作に慣れてきたこと。
- ・テレワークを導入しようか迷っていた際の後押しになった事。導入機材等についての補助金が早期に承認された事。担当の方が当社の取組みについて賛同してくださった事。
- ・テレワーク導入への検討の機会ができた。
- ・社内でのZOOMのリテラシーが高まり、コミュニケーションや仕事の効率が上がった。
- ・現状分析が客観的にできたことと、課題解決に向けて今後どのように進めていくかを具体的にイメージできたこと。
- ・豊富な知識と中立な立場に立ってアドバイスをして頂いた。
- ・客観的にアドバイスをいただくことで、会社のシステムや状況が相対化できた。
- ・業務の改善点を指摘していただいて気づけたこと。
- ・自分たちだけでは推進力に欠ける為。
- ・ツールの使用と他との比較等が出来た事。

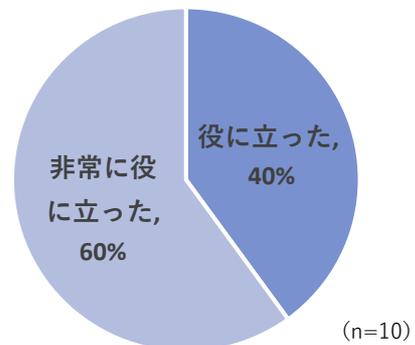
アドバイザー派遣の効果



理由：

- ・定期的にアドバイスを頂けたので、テレワークを推進できた。
- ・丁寧にフォローがあったので安心できた。
- ・テレワークへの取り組み方、必要設備等において的確なアドバイスを頂き、スピード感を持ってテレワークの試行ができた。
- ・テレワーク導入に向けての課題の抽出や適切なツールの助言をいただけた。
- ・テクニカルなサポートや、現状の課題と今後のアクションのアドバイスを頂けた。
- ・現状を分析していただき、今後必要なことをロードマップで的確に指導していただきました。
- ・将来を見据えてに関しても適切なアドバイスを頂けた。
- ・セキュリティの担保や、他社さん事例の等、資料や助言をいただくことで、社内で推進できた。
- ・管理職にとって経営陣より第三者から言われる方が受け入れやすい。
- ・一般的な他社の傾向やアンケートの集計結果のアドバイス。

テレワークの試行体験の効果

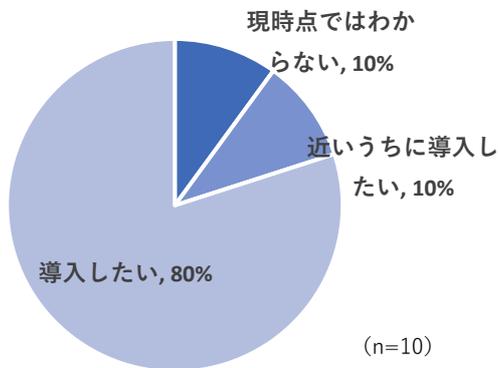


理由：

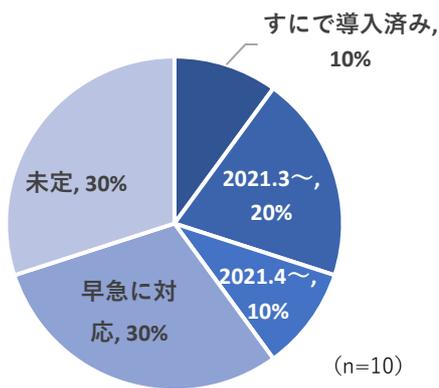
- ・zoomを使えなかったスタッフが使えるようになりテレワークができるようになった。
- ・従業員の意識改革がなされました。一部の業務において見える化ができました。また、コロナ化においてどのように業務を推進していくかの課題が明確になりました。
- ・無償でまずはトライアルができたこと。
- ・コミュニケーションや仕事の効率が上がった。
- ・具体的な提案をして頂けた。
- ・実績ができたことで、次にやるべきことに自信が持てました。
- ・新たな業務形態に気づけたこと。
- ・まずはやってみようという気運が高まったので。
- ・Sococoを使用し、今後職員間のコミュニケーションに役立つイメージができました。
- ・実際にやってみる事での問題点の洗い出しができた。

参加企業へのアンケート結果

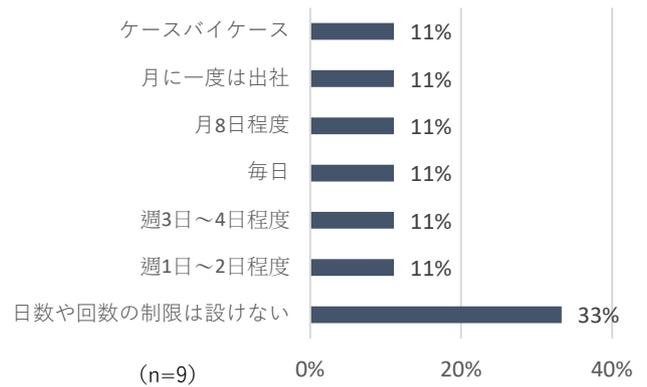
次年度以降のテレワーク制度の導入意向



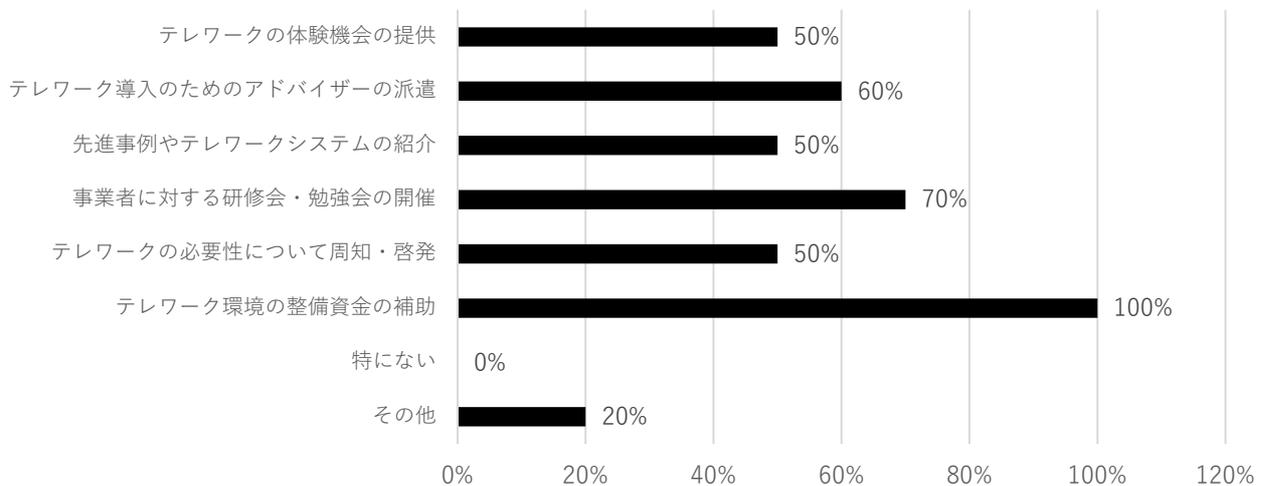
テレワーク制度の導入時期



導入するテレワークの実施頻度



テレワーク導入を促進するにあたり、行政に期待すること



その他：

- ・設備のレンタル又は体験オフィス等の設置、行政ツールの整備。
- ・行政に提出する書類の押印を電子印も可にしていくこと

お問合せ

神奈川県 産業労働局
労働部 雇用労政課 労政グループ

TEL 045-210-5739

受託企業 株式会社テレワークマネジメント

発行 令和3年3月